

福岡県青少年健全育成 アワード 2025

活動の紹介



表彰団体一覧(12団体)

【模範青少年部門】

| | |
|----------------------|---|
| 片島小学校緑の少年団 | 1 |
| 敬愛高等学校インターアクトクラブ | 2 |
| Wing-1. DANCE STUDIO | 3 |
| 朝倉市立蜷城小学校青少年赤十字団 | 4 |

【青少年健全育成部門】

| | |
|--------------------|---|
| いづか人材育成グループ『ユリシス』 | 5 |
| 高槻まちづくり協議会 青少年育成部会 | 6 |
| 月隈武徳館道場 | 7 |
| 一般社団法人umau. | 8 |

【青少年の安全・安心な見守り活動部門】

| | |
|---------------|----|
| 糸島警察署少年補導員連絡会 | 9 |
| 折尾警察署少年補導員連絡会 | 10 |
| 若松警察署少年補導員連絡会 | 11 |

【非行等からの立ち直り支援活動部門】

| | |
|--------------|----|
| 有限会社資源環境サポート | 12 |
|--------------|----|

片島小学校 緑の少年団

福岡県林業振興課推薦

代表者:校長 井関 美貴

〒800-0343 京都郡苅田町大字上片島1504

受賞者の概要

片島小学校緑の少年団は、2013年4月に設立。1年生から6年生の42名(2025年4月現在)で構成され、設立当初から児童が主体となって学校内の花壇や校庭の整備、地域と連携した河川の水質調査などの活動を行っている。

また、京築保健福祉環境事務所や「片島水と緑の里保全組合」の協力のもと、地域の浄土院川の水質調査を実施し、環境保全の重要性を学習している。これにより、地域の自然環境への理解と愛着を深め、環境保全の意識を高めている。

さらに、年に2回、保護者や地域住民と共に学校周辺のゴミ拾いや学校運動場の除草作業等の環境美化活動を実施している。これらの活動を通して、学校が中心となり、地域全体の環境美化に貢献している。

主な活動内容

○花いっぱい活動

毎朝の当番活動として、校内の花壇の水やりや除草作業を実施。児童が主体となって学校園や花壇の世話を行っており、学校の環境整備に取り組んでいる。整備された花壇等は、多くの児童や地域住民から「学校の花壇がいつもきれい」と高い評価を得ており、児童のやりがいや達成感を育んでいる。

○水辺の教室

地域を流れる浄土院川の水質調査や、調査後の座学にて水の汚れる仕組みや環境保全の重要性について学習。地域の団体が協力することにより、実践的な環境学習が実施されており、児童が地域の自然環境を肌で感じ、地域の自然環境への理解と愛着を深めている。

受賞者のコメント

この度は、大変栄えある賞をいただきまして、誠にありがとうございます。

本校は、緑豊かな自然環境に恵まれた地域にある小規模校です。その環境を生かしながら、豊かな体験活動を位置づけ、一人一人が主役となれるような教育活動を推進しています。今後も、花の苗植えや河川の水質調査、親子環境美化などの活動を続け、全校児童・保護者・地域が一体となって、学校周辺の豊かな自然環境を守っていけるように、緑の少年団活動をさらに充実させ、次代を担う子どもたちの豊かな心を育てていきたいと思えます。



水質環境調査活動



親子環境美化活動

敬愛高等学校 インターアクトクラブ

県警本部推薦

代表者:部長 高 愛媛

所在地:〒800-0035 北九州市門司区別院6番1号

受賞者の概要

敬愛高等学校インターアクトクラブは、1975年に門司西ロータリークラブから提唱され設立された部活動団体であり、活動資金の提供や活動の提案を受けながら今日まで活動を続け、現在1～3年生までの部員30名で、地域でのボランティア活動やイベント、清掃活動を実施している。

発足以来、学校や駅周辺の清掃活動を月に1回行ったり、地域のイベントや祭りに積極的に参加し、学校で作った食品を出店したり、ワークショップに参加して地域交流を図ったりする等、各種ボランティア活動や社会貢献活動を精力的に行っている。

また、門司警察署と共同で性犯罪や痴漢に関するキャンペーン活動を1年に3回行っている。キャンペーン活動では、被害が多い駅周辺で啓発グッズを配布し、呼びかけを行うことにより、ともに模範少年として活動する姿を示し、社会貢献に繋がっている。

主な活動内容

○駅構内でのキャンペーン活動

地域の少年補導員や防犯協会職員と連携して、4月新社会人・新入学生に対する性犯罪抑止キャンペーン、7月夏季性犯罪抑止キャンペーン、1月受験期における痴漢抑止キャンペーンを実施。駅の改札前でチラシや防犯グッズ等の啓発物を配布し、声掛けを行っている。

○門司名産「こぶみかん」普及活動

地域の町おこしの一環として「こぶみかん」を普及していくこととなり、門司西ロータリークラブや門司区役所と連携して、門司出身のお笑い芸人口バート馬場さん及び地域住民と一緒に、馬場さんの母校(中学校の跡地)で植樹を行った。今後「こぶみかん」を門司の名産として全国的に普及していく予定。

受賞者のコメント

この度はこのような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。部員一同感謝しています。私たちインターアクトクラブの活動は、あまり目立つこともなく、評価されることも少ないのですが、小さな活動を継続させることで、地域社会や世界が良い方向に変わっていくことを信じて活動しています。

この度、服部知事から直接表彰状をいただき、代表として日頃の活動を直接紹介させていただいたことで、あらためて気の引き締まる思いがします。これからも、どのような活動が地域社会のためになるかを考えながら、新しい活動にチャレンジしていきたいです。



性犯罪、痴漢防止キャンペーン活動の様子

Wing-1. DANCE STUDIO

県警本部推薦

代表者:高崎 晃

所在地:〒811-1213 那珂川市中原3丁目127 グランカーザエテシア2F

受賞者の概要

Wing-1.DANCE STUDIOは、地域に根差したダンススタジオとして設立され、現在は小・中学生を中心とした生徒約100名が在籍している。

生徒たちの「地域を元気にしたい」「人の役に立ちたい」という思いから、地域のまつり、各種イベントに積極的に参加、地域住民らと交流し、ダンスに乗せてみなぎるパワーを地域に届けるなどして地域の活性化を図っている。また、老人介護施設や保育園に訪れ、ダンスを通じて高齢の利用者や園児とコミュニケーションを図っている。

2023年以降は、警察、自治体等と協働した各種防犯、交通安全の啓発活動を継続的に実施している。ダンスに歌や劇を交えたメッセージ性の高い安全安心ステージにより、地域全体の防犯意識を高め、地域の安全安心まちづくりに貢献するなど他の青少年の模範となる活動を行っている。

主な活動内容

○那珂川市安全安心まちづくり推進大会での安全安心ミュージカル

ミリカローデン那珂川で開催された上記大会において、来場した地域住民に対し、警察、自治体と協働して、特殊詐欺の手口の再現や交通安全のポイントを劇と歌やダンスで表現する「安全安心ミュージカル」を実施。

○ふくおか夏休みチャレンジフェスタでの啓発活動

福岡県庁で開催されたふくおか夏休みチャレンジフェスタのオープニングイベントにおいて、参加者に対し警察協働での歌とダンスの啓発活動を実施。司会進行を子供達が担当し、青少年の非行防止(未成年の飲酒、喫煙、暴走行為、違法ドラッグ、万引き防止等)を、振付けで表現した非行防止ダンスを考案し披露、子供の防犯合言葉「いかのおすし」の説明をパネルを使用して実施した。

受賞者のコメント

このたびは大変光栄な賞を賜り、心より感謝申し上げます。

本活動は、スタジオ内で模範となる選抜メンバーが警察官の皆様と連携し、主体的な表現を通して青少年と地域へ大切なメッセージを発信してきた取組です。自ら考え、伝え、社会と向き合う経験は、生徒一人ひとりの自覚と責任感を育み、未来を切り拓く力につながっています。

今後も子どもたちと共に進化し続けてまいります。



社会福祉法人
悠成会秋祭りの様子



県庁子ども企画展
オープニングイベント



防犯啓発活動

朝倉市立蜷城小学校青少年赤十字団

県警本部推薦

代表者:校長 堀田 尊

所在地:〒838-0037 朝倉市林田220番地

受賞者の概要

朝倉市立蜷城小学校青少年赤十字団は、1953年の大水害の際、各国の赤十字団のボランティアから様々な救援を受けたことから、その善意にこたえるため、1954年に発足。中には親子三代にわたり、活動に関わる家庭もあるなど、70年以上にわたり活動が受け継がれている。同活動を体験した卒業生が成人として地域活動の担い手となるケースもあり、こうした状況下において、親子、地域、学校が一体となって、少年の健全育成を図っていこうとする環境が醸成されている。

現在は全校生徒53名が、毎週水曜日にトングとゴミ袋を持って登校し、通学路の道路や水路のゴミを拾い、地域環境美化に貢献している。拾ったゴミは、昼休みに校庭に広げ、分別した上で処理するなど、こうした活動は、児童の健全育成を図る中で環境保護教育にも繋がっている。

主な活動内容

OVS(ボランティアサービス)登校

毎週水曜日に、全生徒53名がゴミ袋とトングを持って登校し、道路や水路のゴミを拾い集め、昼休みにはそのゴミを校庭に広げ分別し、処分するなどの活動を行っている。

児童に対しこの地域が三つの河川に囲まれ、水害が多い農業地帯であるため、用水路のゴミを取り除くことで水害を予防し地域の役に立っていることを理解させモチベーションを上げていることも、活動の継続に繋がっている。

この活動は、梅雨期における浸水被害などの抑止にも繋がっているだけではなく、小学生時代にボランティア活動を体験した者が、成人となって、そうした活動の担い手となっている。小学生のボランティア活動に対して住人が感謝の言葉をかけることによって世代の垣根を超えた交流の場を形成している。

受賞者のコメント

2月13日に本校の青少年赤十字加盟記念日学習会を行い、ここでは全学級が一年間のJRC(日本赤十字活動)を通して学習してきたことを発表しました。併せて今回の受賞を全児童や保護者、地域の方へと報告しました。この2月で加盟して73年目になります。毎年2月のこの時期に一年間の学習の成果を劇で披露し、JRCで学ぶ意義や価値を見出し、振り返る場でもあります。今回の受賞がこれまでの本校の取組への価値づけとなり、大変光栄に思います。



活動の様子

いづか人材育成グループ『ユリシス』

飯塚市推薦

代表者:会長 松永 樹俐

所在地:〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 飯塚市役所国際政策課内

受賞者の概要

2007年度、2008年度に飯塚市教育委員会主催の「飯塚市中学生海外研修事業」へ参加し、オーストラリアでファームステイやホームステイ、野外体験等を経験した研修生OB・OGが中心メンバーとなり、2009年11月に設立。飯塚市を中心として活動しているボランティアグループである。

「地域貢献」「異世代間交流」「国際交流」を活動のテーマとし、様々なことに参加・協力・チャレンジして、その活動の中で出会う方々との交流を通じて、「自ら学び、感じ、成長していくこと」をモットーに、来日間もない外国人支援と異文化間交流を目的とした日本語教室の運営支援、乳幼児、小学生、高齢者等との異世代間交流を目的とした地域での交流センター事業へ協力、二十歳を祝う会における運営支援、民間財団等の助成事業を活用した事業実施等を15年以上継続し、活動している。

主な活動内容

○外国人のための日本語教室・運営支援

来日間もない外国人を対象とした日本語教室における運営支援。中高生メンバーが、日頃の活動から、課題を把握し、それを改善するため日本語の読み書きがほとんどできない超初心者コースの設置や参加する外国人の子どもたちと日本の遊びを通じて交流するスペースの設置などを提案、実現させ円滑な教室運営につなげている。

○地引 Amigo!!～外国人と海洋体験を～

民間財団の助成事業を活用し、市内在住の外国人や国際交流に関心のある市民を対象とした海洋体験事業。地引網・獲れた魚を捌く調理体験・海洋アクティビティを行う。

○国際交流促進プロジェクト～木と共に生きるみらい～

民間財団の助成事業を活用し、市内在住の外国人などを対象とした体験活動事業。県産材を使った木工体験・地元でとれた野菜などを使った調理や餅つき体験を行う。

受賞者のコメント

この度は、青少年健全育成アワード・青少年健全育成部門の団体に選んでいただき、本当にありがとうございます。私たちがこのような素晴らしい賞を受賞できるなんて思ってもいませんでした。心から感謝しています。これまで私たちは「地域貢献」「異世代交流」「身近で出来る国際交流」をテーマに、さまざまな活動に取り組んできました。これまでの活動を通じて得た経験を今後も活かし、「できる人が、できる時に、できることを」のスタンスを継続しながら少しでも地域を盛り上げていけるように楽しむことを忘れずに活動していきます。



「外国人のための日本語教室」
学習者支援



海洋体験事業



「二十歳を祝う会（旧成人式）」
運営補助

高槻まちづくり協議会 青少年育成部会

北九州市推薦

代表者:部会長 川崎 一司

所在地:〒805-0024 北九州市八幡東区中畑2-5-2

受賞者の概要

2001年、高槻まちづくり協議会設立と同時に青少年育成部会を発足。主に青少年の健全育成の推進及び、保・幼・小・中との地域活動の連携の推進を図ることを目標に活動している。

地域の各行事に青少年育成部会として積極的に参加したり、市民センター・小学校等と連携したり、と地域全体での青少年健全育成活動推進に努めている。

「どんど焼き」や「餅つき」など伝統行事を通して多世代交流の推進を図ったり、「花いっぱい活動」では、小学校児童が花の種まき・苗づくり等を自分たちで行い、育てた花の苗を地域の施設等に提供する取組を行っている。本活動は地域の小学校と連携し学習の一環として位置付けられており、活動を通じて児童の「いのち」を守り大切にする思いやりの心を育み、青少年健全育成に大きく貢献している。

主な活動内容

〇どんど焼き

正月の飾り物やお札を集め、地域住民の無病息災を願って行う伝統行事。子どもたちに神事に参加させ、伝統文化に触れさせている。青少年育成部会は、「餅つき」を担当し、子どもたちに餅つきを体験させたり、出来上がった餅を振舞う。

〇花いっぱい活動

小学校児童が花の種まき・苗づくり等を行い地域施設へ苗の配布を行う活動。

〇たけのご掘り

子どもたちへ山でたけのご掘りを体験させる活動。山の清掃・整備、当日の補助等を行う。

〇八幡東区子どもまつり

実行委員の一員として子どもまつりに参画。ゲームやバザーを出店する。

受賞者のコメント

青少年健全育成部門で服部福岡県知事より表彰していただき、大変名誉に思っています。

また服部知事とご一緒の写真はとてもうれしく思います。

今回の表彰は部会員にとって今後の活動の励みになります。

表彰状と記念の盾は高槻市民センターに飾りました。

表彰式の記念写真は市民センターだよりに掲載され、高槻地区の全家庭に配布されました。

今回の表彰を高槻地区住民全員が心より喜んでいきます。ありがとうございます。



餅つきの様子



花いっぱい活動

月隈武徳館道場

県警本部推薦

代表者：迫野 譲二

所在地：〒811-2201 志免町桜丘1丁目15番3号

受賞者の概要

1973年、柔道を通じた青少年の健全育成を図ることを目的に前身の月隈少年柔道クラブを設立。その後、現代表者が月隈武徳館道場として引き継ぎ、礼儀・感謝・謙虚を心に活動を継続。

本道場は、柔道の鍛練を通じた精神力や忍耐力の向上はもとより、将来社会のリーダー的存在となれる人材に育てて欲しいとの願いを掲げ、礼儀作法の習得から相手を敬う心、人に感謝する気持ちを学ぶこと、常に謙虚であること等に重点を置いた人間形成(指導・育成)を図っている。

毎年2月には、県内及び九州各県等から約1,000名の選手(幼児・小学生対象)が集結し熱戦を繰り広げる、西日本最大級の柔道大会である「月隈少年柔道大会」(1978年から開催)を主催しており、青少年のスポーツ交流の機会提供に貢献している。

また、柔道以外にも、道場周辺の清掃活動、あいさつ運動、野外活動を行い、青少年の自主性及び協調性、社会性、忍耐力といった育成を図っている。

主な活動内容

○柔道稽古

毎週3回(月、水、金)稽古を行う。門下生(OB)をはじめ、生徒の保護者や周辺の道場関係者(同世代の児童ら)等、あらゆる世代が参加し、良き人材交流の場となっている。

○月隈少年柔道大会

福岡市総合体育館や福岡武道館で開催される県内外から約1,000名の幼児・小学生が集結する西日本最大級の少年柔道大会。同大会では、福岡市、福岡県柔道協会等のほか、博多警察署、福岡県少年警察ボランティア協会、博多警察署少年補導員連絡会等が後援となり、優秀な成績(優勝、準優勝、第3位)を残した選手以外にも、「成績優秀者だけでなく、上位になれなくても努力している子供たちにも賞を与えたい」との思いから、各チーム2名ずつ「努力賞」のメダルを授与している。

受賞者のコメント

この度は表彰いただき誠にありがとうございます。また、表彰式では服部知事をはじめ他の表彰者の皆様との語らいの中、励みと学びを頂けましたことにも感謝申し上げます。

設立以降、感謝・謙虚・礼儀を心に、子ども達の心身の成長を願い活動してまいりました。

52年の長きにわたる活動も偏に皆様のご支援の賜物です。これまで関わっていただいた全ての方々へ感謝申し上げます。



柔道大会の様子

一般社団法人umau.

久留米市推薦

代表者：中村 路子

所在地：〒830-0048 久留米市梅満町32-4

受賞者の概要

幅広い年齢層が集う居場所づくりの展開を行っており、特に一般的に集まりにくい傾向がある高校生や成人した若者までが集い、活動を共にしている団体である。

親子食堂(子どもとその親を対象とした食事提供)をはじめ、こども・若者の居場所づくり、フードパントリー(食料の支援)、就業支援、小学生向けプレゼン教室、病気や緊急時のお預かり宿泊や送迎等、困難を抱えるこども・若者とその家族に対し幅広く包括的な支援を行なっている。

「血縁のない大家族づくり」を掲げ、血縁を超えた大家族という新たな共同体を創出し、社会的孤立という根本課題に挑み、頼れる関係性を地域に再構築している本団体は、子ども・若者・子育て家族などのニーズを当事者視点で活動に落とし込んでおり、久留米市にとっても欠かせない存在となっている。

主な活動内容

〇じじっかの週末

毎週金土日曜日に、じじっか(拠点名)を開放し、居場所づくりと親子食堂を展開。

時間は金土曜日10:00-20:00、日曜日10:00-14:00と長めに設定しており、出入り自由で送迎も行っている。昼ご飯・夜ご飯も無料提供しており、夜ご飯においては毎回150食程の提供数で配達も行なっている。

〇自分流計画3人4脚プロジェクト

15歳から25歳の若者を対象に、本人と家族と地域との3人4脚で「自分流」を見つけ、計画し、実行していくプロジェクト。伴走者と共に、月に1回の会議と日常的な関わりの中で、自分の自分流を考え、1年間という期間で計画を実行に移し、最終には修了式で発表を行う。

受賞者のコメント

この度は、青少年健全育成部門において栄誉ある賞をいただき、身の引き締まる思いです。活動を支えてくださった地域の皆様、そして何より、ここを「じじっか」として集まってくれる子どもたちに心から感謝申し上げます。

私たちは、子どもたちが背負っている荷物をふっと下ろし、ありのままの自分でいられる「第二の実家」のような場所を目指してきました。日々の何気ない対話や食卓の中にこそ、健やかな成長の種があると信じています。

今回の受賞は、私たちの活動へのエールだと受け止めています。これからも、子どもたちが「帰りたくなる場所」を守り続け、地域全体で温かく見守る輪をさらに広げていけるよう、一層励んでまいります。



普段の様子

糸島警察署少年補導員連絡会

少年警察ボランティア協会推薦

代表者:会長 鈴木 文男

所在地:〒819-1116 糸島市前原中央1丁目6番1号

受賞者の概要

設立時から約47年にわたり、街頭補導活動や登下校時の見守り活動を中心とした各種活動を行い、少年の非行防止及び健全育成に尽力している。

街頭補導活動は、集団による徒歩活動及び青パトを活用した広範囲のパトロールを実施し、顕示効果を高め、少年の非行防止のみでなく地域の安全安心にも寄与している。

児童生徒への見守り活動は、登校時及び下校時に実施し、毎日のように継続的に実施することにより、少年の健全育成だけでなく、地域の安全安心及び交通事故抑止等にも寄与している。

本年度から、人的交流等の生活圏が共通する隣接警察署の少年補導員連絡会と合同の研修会を行い、各管内における少年の情報を共有するとともに、本部少年課等が実施する各種研修会等で得た知識技能のフィードバック教養や声かけ要領のロールプレイ等を実施しており、署の管轄を超えた効果的な活動を推進している。

主な活動内容

○官民一体となった「安全安心ネットワーク」への参画

糸島市において、官民の協力のもと立ち上げられた「安全安心いとしま協働ネットワーク」へ参画し、少年補導員の活動として、月に2回の「定例活動」において、児童生徒の登下校の見守り、夜間補導等を行っている。また、管内で重大な事件事故が発生した際には、「特別活動」として青パトによる顕示効果や街頭、児童生徒の登下校の見守り等を行っている。

○風俗営業店(パチンコ店)への立ち入り

風俗営業店(パチンコ店)に立ち入りを実施し、少年が遊戯をしていないか、少年への立ち入り禁止の標章等が設置されているか等を確認し、従業員に対し少年らに対する声かけ等を助言し、少年に対する有害環境の浄化に努めている。

受賞者のコメント

今回は、このような賞を受賞させていただきありがとうございました。

今回の受賞は、連絡会としても、とても励みになっています。

これを機に、更なる活動の強化に努め、少年の非行防止と健全育成活動に尽力してまいります。地域の子は地域で守り育てるを合言葉に、頑張っていこうと思います。



夜間街頭補導



合同研修会の様子



折尾警察署少年補導員連絡会

少年警察ボランティア協会推薦

代表者:会長 二村 勉

所在地:〒807-0824 北九州市八幡西区光明1丁目6-6

受賞者の概要

1967年10月9日に折尾警察署長の委嘱で設立され、少年の非行防止と健全育成を目的に街頭補導や夜間パトロール、児童の見守り活動を行っており、特に非行少年に対する立ち直り支援に力を入れている。

少年警察学生サポーターと共同しての学習支援や、就職を希望する少年には管内の企業を紹介する等(折尾警察署職場警察補導連絡会との連携)の就労支援を行っている。

現在の取組として、管轄の学校警察連絡協議会と共同して「非行防止イラストコンクール」を立ち上げ、児童生徒から非行防止に関する絵を募集して審査のうえ表彰を行い、同作品を管内の商業施設に掲示する等の広報啓発活動を行っている。この活動を通じて児童生徒の規範意識の向上や、地域住民に少年の非行防止、立ち直り支援の意識の醸成に繋がり、青少年の健全育成へ大きく貢献した。

主な活動内容

○学習支援活動

少年警察学生サポーター、少年補導員、警察が連携し、管内に居住する非行少年等を受験までの3、4か月(11月頃から翌3月頃まで)学習支援を行い、希望校への進学を助成するもの。

○街頭補導活動

地域や少年警察学生サポーターと協力して児童生徒の安全を守る活動。

○有害図書類自動販売機調査

管内に有害図書類の自動販売機が設置されていることから、各自動販売機に対する設置状況、稼働状況と内容を確認して警察に報告を行い、また新規で設置された等の情報があった際には現場確認を実施し警察に報告する等、青少年に対する有害環境の浄化を図る。

受賞者のコメント

この度は、栄誉ある賞を賜り大変光栄に思います。

折尾警察署少年補導連絡会は、長期に亘り、パトロールを行ってきましたが、今年度は、非行防止活動として「非行防止イラストコンクール」を実施し、少年に、規範意識について考えさせるという活動にも力をいれてまいりました。

今後とも、今回の受賞を励みに、各機関と連携し、少年の非行防止、健全育成に繋がる活動を推進してまいります。



夜間街頭補導



学習支援活動



非行防止イラストコンクール

若松警察署少年補導員連絡会

少年警察ボランティア協会推薦

代表者:会長 野田 益男

所在地:〒808-0066 北九州市若松区くきのうみ中央1番1号

受賞者の概要

1967年に若松警察署長の委嘱で設立され、少年の非行防止と健全育成を目的に街頭補導や夜間パトロール、児童の見守り活動等を実施している。

「街頭補導活動」「登下校の見守り活動」等を中心とした各種活動を継続実施しており、加えて昨年から「性犯罪抑止の街頭広報活動」「インターネット利用における子どもの性犯罪等被害防止啓発」活動を実施。また、保育園等で開催される各種防犯活動等において警察官とともに参加して、不審者から身を守る等の防犯活動意識を醸成させる活動を行うなど、青少年やこどもの非行防止や健全育成活動を積極的に行っている。

年に1度行っている非行防止カルタ会は、児童らが学校や年齢の垣根を越えて触れ合うことのできる場所であり、居場所づくりに一役かっているほか、多数の児童、少年補導員と触れ合うことで、自主性・協調性の涵養、規範意識や社会性の醸成など多くの効果を生み、カルタ会を通じて地域社会に貢献できるものとなっている。

主な活動内容

○非行防止カルタ大会

少年の健全育成及び居場所づくりの一環として、若松区居住の小学生を対象にカルタ大会を開催し、規範意識やモラル向上の気運を醸成している。また、警察と協同で防犯寸劇を実施し、児童が不審者から身を守る術を学ぶことにも役立っている。

○街頭補導活動

夜間における駅、公園、コンビニ等を中心としたパトロールを月に1回実施。地元のお祭り(えびす祭り)や花火大会(くきのうみ花火の祭典)といった大規模イベントには、各支部を超えて集まり、街頭補導活動や少年補導員の広報啓発活動をしている。

受賞者のコメント

この度は、栄誉ある賞をいただき、誠に光栄に存じます。私達が日々行っている青少年健全育成のための活動が、このような形で評価されたことを大変嬉しく思います。

私達は、『子どもたちの笑顔、明るい未来』を信じ、活動を続けてまいりました。子どもたちが健やかに成長し、将来地域社会を担う存在となってくれることが、私たちの最大の喜びです。今回の受賞を励みに青少年の健全な成長を願い、より一層地域に根差した活動を推進してまいります。



保育園での防犯教室の様子



街頭夜間補導



非行防止カルタ大会

有限会社資源環境サポート

特定非営利活動法人福岡県就労支援事業者機構推薦

代表者:代表取締役 吉国 伸一郎

所在地:〒811-1313 福岡市南区日佐5-23-1

受賞者の概要

有限会社資源環境サポートは、福岡県内の主に福岡市とその周辺市町村を中心に、再資源化物回収・産業廃棄物収集運搬・グリスラップ清掃・排水管洗浄・遺品整理・家財整理を行う企業である。

2014年2月より協力雇用主として活動しており、刑務所出所者等及び非行少年等の更生のための就労支援の受け入れ、非行少年等の就労体験の受け入れ等を行い、非行少年の就労支援、居場所づくりに貢献している。

就労体験を作業の指導だけでなく、働くことの大切さや社会の一員としての自覚を育てる機会として位置づけており、産業廃棄物収集運搬業という安全管理が重要な現場においても、丁寧な作業指導と安全教育を通して、少年たちが安心して働ける環境を整え、作業を通して、挨拶や報告・連絡などの基本的な社会スキルを自然に学べるよう工夫をし、少年たちにとって実践的な社会参加の場を提供している。

主な活動内容

○非行少年等の生活習慣の改善/就労支援/居場所づくり

刑務所出所者等及び非行少年等の更生のための就労支援の受け入れや、非行少年等の就労体験の受け入れを行う。これまで5人の対象者を雇用、9人の少年の就労体験者を受け入れ、うち7名が就労に繋がった実績をもつ。

関係機関との連携を密にして、受け入れ前後の情報共有を行うことで、現場が安心して受け入れられる体制を整え、少年たちに現場での実践的な支援を通じて「働くことの意味」を伝える取り組みを行っている。

受賞者のコメント

この度は、福岡県青少年健全育成アワード2025に表彰していただき誠にありがとうございます。非行等からの立ち直りを支援する中で、少年少女と会話をして寄り添い共感し、その中でも時には先輩として親として、時には友達として接することが大事だと思っています。

この度の表彰を受け、更に頑張らなければと社員一同で気持ちを新たにしました。

最後に服部知事より、「何か困ったことがあればいつでも相談ください」と温かい言葉をいただき、ありがとうございました。



作業風景



お問い合わせ

福岡県人づくり・県民生活部
私学振興・青少年育成局青少年政策課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
電話(092)643-3134(直通)